



明けましておめでとうございます

令和8年の新春を迎え、本年が希望に満ちた年となることを祈りつつご挨拶を申し上げます。

令和7年を振り返り、国内外の出来事を思い出しながら書いてみます。4月13日から10月13日までの184日間、大阪・関西万博が開催されました。開催前は建設費の増額や、パビリオン建設の遅れなどネガティブな印象もありましたが、開幕後はミャクミャクの人気も功を奏して大盛況でした。皆様はご覧になりましたか。私は行く機会に恵まれませんでした。全国的にクマの出没が相次ぎ、被害者数は昨年過去最悪となりました。市街地にも現れることから「緊急銃猟」の措置もありました。柿等の早期摘果が促され、防災無線放送による注意喚起も毎日続きました。三社柿の産地でもあり、気の休まる日は無かったと思います。南砺市内でも人身被害が発生しました。早く冬眠に入ってくれればと願います。

米価の高騰もありました。昨年の年明けからコメ価格の高騰を受け、政府備蓄米の放出がなされましたが、米価の高止まりは現在も続いています。生産者としては売渡価格が値上がりして好ましいのですが、消費者の立場からは困ったものです。需給バランスの難しさでしょうか。また、記憶に新しい、大リーグのドジャース連覇がありました。大谷翔平選手、山本由伸選手、佐々木朗希選手の日本人トリオの大活躍がありました。今春のWBCでも目が離せませんね。そして、全国的に山火事や住宅火災、高齢者の車両事故、歩行者を撥ねひき逃げ死亡事故発生など、心痛む事件事故もありました。皆様には心穏やかに清々しい一年をお過ごしください。

地域づくり協議会では、コロナ禍前と同様の行事を予定どおり実施出来たものと思っていました。生憎の天候から三世代レクリエーション大会は中止となりましたが、納涼祭、敬老会、文化祭を関係の皆様のご協力をいただき開催しました。アクションプラン実行委員会では、リユース販売金 7,070 円は富山県被災者支援金として寄付しました。12月21日には「クリスマス&餅つき大会」と「そくさい会」を温知交流館（旧北山田保育園）と北山田交流センター（旧北山田公民館）を会場として135名の参加者で賑やかに開催することができました。子ども達の賑やかな声に励まされたのは大人の方だったようにも感じました。

令和8年度も、世代を超えて交流できる機会の創出、高齢者も気軽に参加できる場の創出を念頭に、良いところはもっと良く、悪いところがあればどう改善するか、必要な行事と不要な行事などについて話し合う場を作つていければと思います。派手な活動はできないかもしれません、皆様のご協力により進めていきたいと考えています。

令和8年が皆様にとって、駿馬の如く勢いに満ちた飛躍の一年になりますようご祈念して年頭のご挨拶といたします。

北山田地域づくり協議会 会長 井口 一彦